

地域支援に向けた 取組みの状況

2026年8月

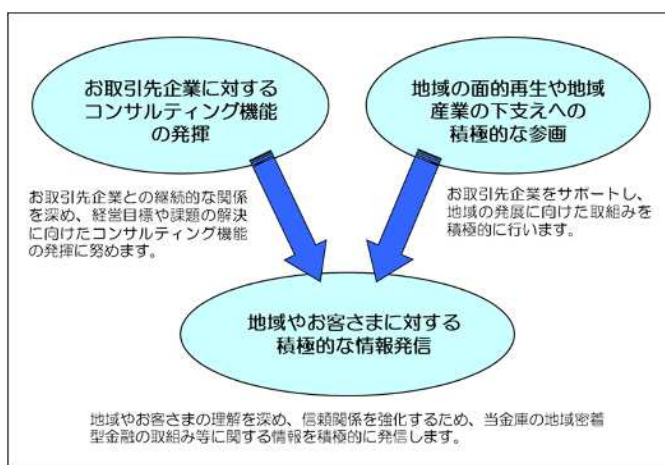


川崎信用金庫

2025年度における地域密着型金融推進計画の取組み状況について、「金融仲介機能のベンチマーク」の指標と共にご紹介いたします。

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは、金融機関において金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、2016年9月に金融庁が策定・公表したものです。なお、当金庫における各指標の集計にあたっては、一部定義を変更しています。また、取引先数はグループベースではなく、単体ベースで集計しています。

■かわしんの 地域密着型金融



■経営支援体制

当金庫では「地域と共に歩む協同組織金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たし、地域社会の発展に貢献する」ことを経営方針の一つに置き、中小企業の本業支援に力を入れています。

当金庫本店に「お客さまサポート部」を設置し、営業店と本部スタッフによる企業支援のほか、支援機関や外部専門家などと連携した支援を行っています。



お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

■ 創業・新分野進出の支援

自治体や支援機関等が主催する各種ビジネスオーディションに協力し、協賛賞の提供等を通じて、新たなビジネスにチャレンジする事業者を応援しています。

【協力実績】

- 「かわさき起業家オーディション」への協賛 協賛賞：「かわしん賞」を計4社へ授与
- 「かながわビジネスオーディション」への協賛



かわさき起業家オーディション



かながわビジネスオーディション

創業支援の件数

	2025年3月	2026年3月
創業支援の件数	445件	555件

■ 成長段階における支援

販路拡大（ビジネスマッチング）

お客さまの販路拡大や新たなビジネス機会を提供するため、各種商談会や経営課題をトータルサポートするWEBプラットフォームサービス「Kawasaki Big Advance」等を活用し、ビジネスマッチング支援に取り組んでいます。

【開催内容】

●「ビジネスマッチングwithかながわ8信金」

神奈川県内8信用金庫と連携し、県内で活動される企業を中心に、新たなビジネスパートナーを寻找していただくため、製造、食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会を開催しました。

＜総体の実績＞

- ・参加企業数：332社(発注、受注企業の合計)
- ・総商談件数：773件



販路開拓支援を行った先数、外部専門家の活用を行った回数等

	2025年3月	2026年3月
販路開拓支援を行った先数	138先	227先
外部専門家の活用を行った回数	367回	348回
M&A支援先数	62先	63先
本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	85先	92先
取引先支援のため他の金融機関や政府系金融機関と提携・連携した先数	他金融機関 7先 政府系 1先	他金融機関 7先 政府系 1先
企業型確定拠出年金の導入支援件数	累計26件	累計30件



2020年7月より取り扱いを開始したWEBプラットフォームサービス「Kawasaki Big Advance」により、販路拡大・人材確保・業務効率化・事業承継など、お客さまの抱える経営課題をトータルサポートしています。

非対面で行えるビジネスマッチングや、効率的なコミュニケーションツールとして気軽に活用できるチャット機能、文字や写真を入れるだけで簡単に出来上がるホームページ作成機能など、便利な機能を有し、多くの事業者の方にご利用いただいています。

URL : <https://www.kawashin.co.jp/houjin/support/kba.html>



知的財産マッチング事業

川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団、公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEA横浜)等と連携し、大企業等の特許技術やノウハウと中小企業をマッチングすることで、新商品開発や新たな事業展開を支援しています。



当金庫の知的財産マッチング事業について当金庫ホームページにて紹介しています。

URL : <https://www.kawashin.co.jp/houjin/support/ip.html>



■ 再生支援・事業承継

当金庫では、経営状況が悪化した先や後継者が不在でお困りの先など、悩みや課題を有するお取引先に、経営改善策の提案や、経営改善計画の策定支援などを通じて経営課題解決に取り組んでいます。本部に経営改善支援担当を配置し、営業店と連携することにより、サポート体制を強化しています。また、中小企業活性化協議会等の外部機関や専門家とも連携して、経営改善支援に取り組んだ事例や返済正常化を支援した事例もあります。



貸付条件の変更を行っている先数

	2025年3月	2026年3月
条件変更先数	935先	937先

事業承継支援先数、中小企業活性化協議会申請先数

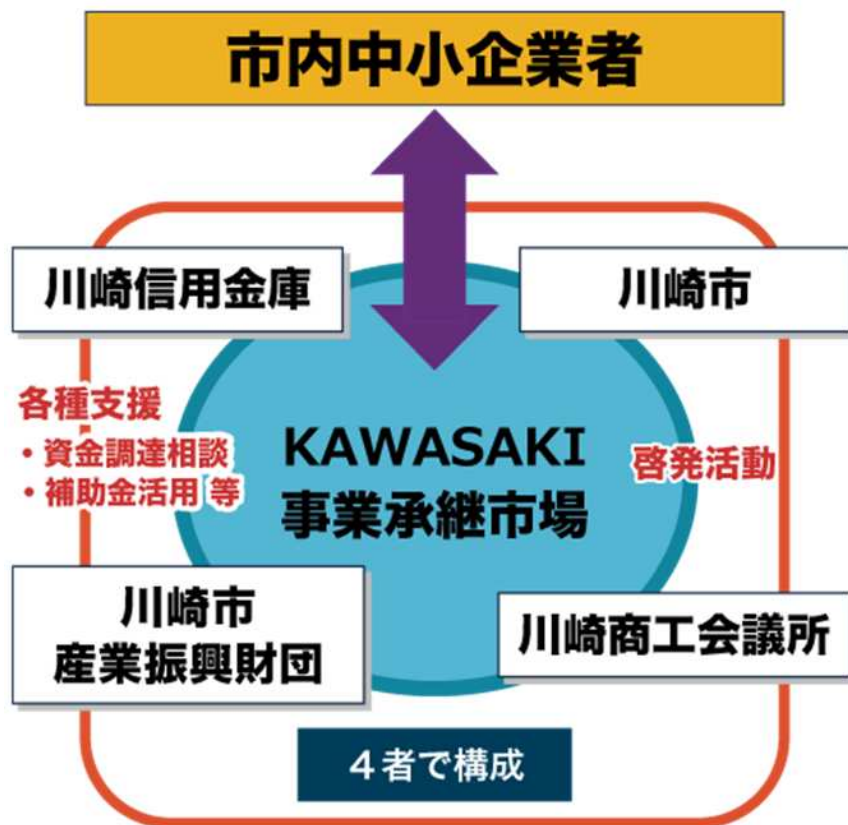
	2025年3月	2026年3月
事業承継支援先数	196先	340先
中小企業活性化協議会 申請先数	5先	8先

ライフステージ別の融資先数、及び、融資残高(事業性融資のある法人先のみ)

		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	その他
融資先数	2025年3月	15,084社	2,215社	1,837社	8,228社	934社	972社	898社
	2026年3月	15,442社	2,360社	1,734社	8,608社	926社	976社	838社
融資残高	2025年3月	7,105億円	403億円	1,023億円	4,575億円	469億円	351億円	282億円
	2026年3月	7,273億円	424億円	965億円	4,899億円	438億円	327億円	218億円

KAWASAKI事業承継市場

2017年12月より、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団及び川崎市と共にKAWASAKI事業承継市場を運営しており、後継者育成や第三者承継(M&A)など、中小企業者が抱える事業承継に関する相談やサポートをオール川崎で対応しています。



当金庫の事業承継・M&A支援について当金庫ホームページにて紹介しています。
URL : <https://www.kawashin.co.jp/houjin/support/shoukei.html>



■ 新規融資の取組み

当金庫では、地域で資金を必要とするお客さまのお役に立てるよう、お客さまのニーズをよくお聞きし、融資が必要な際には、より早くお応えできるよう努力しています。

当金庫をメインバンクとするメイン先数は2026年3月までの1年間で着実に増加しています。



メインバンクとしての取組み状況

	2025年3月	2026年3月
メイン先数	7,512社	7,595社
メイン先の融資残高	4,516億円	4,625億円
経営指標等が改善した先数	4,255社	4,465社
経営指標等が改善した先に係る融資残高の推移	2,835億円	3,049億円

※メイン先：当金庫の融資割合が50%以上の法人

※経営指標等が改善した先：前期比で従業員が増加した先、または売上高が増加した先

融資申込みから決裁までの平均日数等

	2025年3月	2026年3月
融資申込みから決裁までの平均日数	11日	13日
法人担当者1人当たりの取引先数	67先	61先

■ 担保・保証に依存しない融資への取組み

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、担保・保証に依存しない融資の一層の促進に向け、態勢の整備と適切な対応に努めています。

事業性評価に基づく融資についても、2026年3月までの1年間で、融資先数は増加しており、積極的に取り組んでいます。



「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数、割合

	2025年3月	2026年3月
①全融資先数	22,527先	22,959先
②ガイドライン活用先数	2,552先	2,566先
②／①	11.3%	11.2%

※ 全融資先数：事業性融資残高を有する法人と個人の合計

※ 「経営者保証に関するガイドライン」とは、日本商工会議所と一般社団法人全国銀行協会を事務局とする「経営者保証に関するガイドライン研究会」が2013年12月に策定・公表したもので、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に努めること等を規定しています。

事業性評価に基づく融資の取組み状況

	2025年3月	2026年3月
事業性評価に基づく融資を行っている融資先数	707先	709先
当該融資先の融資残高	589億円	574億円

※ 当金庫では、以下の取引先を事業性評価に基づく融資先としています。

- ①お客さまの事業内容を詳細に分析・記載した「事前検討シート」を作成し融資を行った先
- ②ものづくり補助金等の補助金申請時に認定支援機関による確認書等を発行し、補助事業に関連した融資を行った先
- ③貸付条件変更先等の内、経営改善計画が策定され、かつ返済正常化融資を行った先

地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画 (地域経済の活性化に関する取組み)

■ 若手経営者の育成

かわしん創発塾

地元中小企業の若手経営者の育成を図ることを目的として、1999年11月に発足した経営塾です。講師から一方通行型の一般的な経営セミナーと異なり、会員との双方向性を重要視した、参加型の講義が特徴です。会員の方々は幅広い業種にわたっており、会員相互の異業種交流の場として活用いただいています。

■ 社会貢献活動

川崎市等と連携し、地域貢献のためのイベントに積極的に取り組んでいます。

【主な取組内容】

●「かわしん杯 ジュニアサッカー大会」

川崎市サッカー協会に加盟している小学2～4年生のチームを対象に、1994年より毎年開催しています。第33回大会は86チーム1,500名を超える選手が参加して熱戦が繰り広げられました。

●「川崎ジュニア文化賞」

川崎市内に在住・通学する小学5・6年生を対象とした作文と絵画のコンクールを1992年より開催しています。

第35回は、4,400点を超える応募がありました。

■ 地域(経済)活性化への取組み

かわしん想業セミナー

2025年9月から10月にかけて、川崎市特定創業支援等事業「想業セミナー」を全5回開催しました。本セミナーは当金庫初開催となる特定創業支援等事業に該当し、創業予定者や創業後5年以内の個人事業主などを対象に対面形式で実施。修了者は会社設立時の登録免許税軽減や小規模事業者持続化補助金の補助上限額増額などのメリットを受けることが可能であるため、今後も継続的に開催し、創業支援を行います。



食品展示会（美味しいものの発見市）の開催

2025年12月11日に川崎市産業振興会館1階ホールにて、当金庫では初の試みとなる食品展示会を開催しました。当日は24社がブースを設置し、スイーツやお酒、お茶などの様々な逸品が展示され、試食も行われ、飲食業などをはじめとする食品流通事業者73名が会場を訪れ、出展者販路の拡大や商品PRの場を提供しました。



地域やお客さまに対する積極的な情報発信

中小企業動向調査

四半期に1回、川崎市内の中小企業の景況感を調査する中小企業動向調査や社会情勢を調査する各種特別調査を行っています。調査結果をホームページに掲載し、地域で情報を共有化するとともに、企業経営に役立つ情報を提供しています。

2025年度の主な特別調査について

第1四半期	5年後（2030年）以降を見据えた中長期的な経営について
第2四半期	不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営
第3四半期	2026年（令和8年）の経営見通し
第4四半期	中小企業経営者のライフデザイン

地域密着型金融に関する情報発信

地域密着型金融に関する推進計画及び取組状況については、当金庫のディスクロージャー誌及びホームページへの掲載を通じて、地域やお客さまへお知らせしています。

地域密着型金融の実績（2025年4月～2026年3月）

主要計数等		実績
期初における支援対象お取引先数(A)		10,658先
	うち経営改善支援先(α)	92先
	α のうち期末に債務者区分がランクアップした先数(β)	5先
	α のうち再生計画を策定した先数(σ)	37先
経営改善支援取組み率(α/A)		0.8%
ランクアップ率(β/α)		5.4%
再生計画策定率(σ/α)		40.2%
創業・新事業支援融資実績〔件数・実績〕		件数:519件 金額:3,440百万円
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績〔件数・金額〕		件数:176件 金額:3,098百万円
中小企業向け融資残高		10,468億円

(注)

1. 期初における対象お取引先数（正常先を除く）は2025年4月当初時点のものです。
2. 期初における対象お取引先数及び経営改善支援先は、取引先企業（個人事業主を含む）で、地方公共団体並びに個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
3. 各比率は小数点以下第2位を切り捨てのうえ表示しています。
4. ランクアップとは当期末（2026年3月末）の債務者区分が期初（2025年4月当初）より上位遷移することをいいます。
5. 再生計画を策定した先数には、中小企業活性化協議会に持ち込んで再生計画を策定した先に加えて、当金庫独自の再生計画策定先を含んでいます。
6. 創業・新事業支援融資の実績は、「かわしん創業支援資金『MUSUBU』」、「川崎商工会議所創業者支援保証制度」、「信用保証協会付の制度融資」の合計です。
7. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績は、「かわしん『この街ローン』」、「かわしんカーボンゼロ・アシスト2050（無担保扱い）」の合計です。